



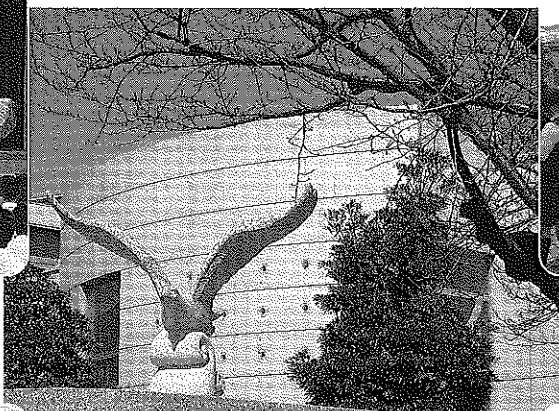
如意ヶ丘

《発行》平成20年12月19日

国際交流科の船出と飛躍



大連市第十二中学と交流会



AFSロシアの生徒たちを迎えて



府丘祭(文化祭)



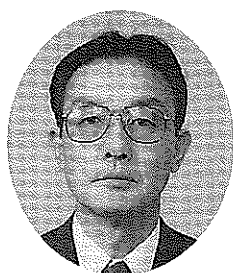
野球応援(県大会ベスト8)



創立80周年記念事業「校門リニューアル」



ごあいさつ



会長
牧 亨

如意ヶ丘から有磯海越しにそびえる立山連峰も、毎日に雪化粧があざやかに目に飛び込めます。会員の皆様にはご健勝にお過ごしのことと拝察申し上げます。

去る8月14日の定期総会において、林前会長の後任としてはからずも会長職の重責をお引き受けすることとなりました。林前会長には体調不良にもかかわらず、昨年10月5日に開催された本校の創立80周年記念式典ならびに記念事業を、先頭に立って成功裏に導かれたことに深く敬意を表するものです。小生においては誠に浅学非才ではありますが、会員の皆様のご指導、ご協力を賜りながら職務を全うしたいと思います。

本年4月に、田中春男校長先生の後任に豊田久正校長先生が新たに着任され、本校は国際交流科校として、生徒自身の語学のレベルアップをはじめ、海外への語学研修や外国生徒の受け入れ、交流を实践し、常に地元新聞紙上に取り上げてもらうなど、幅広い特色ある校風の創成

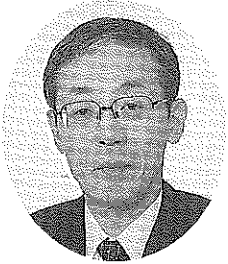
と充実を図っておられるところです。

さて、私も同窓会役員は80周年のイベントを終え、しばらくは一息つけるものと思っておりましたが、ご承知のとおり近年の少子化にともなう県立高校の再編・統合問題が浮上しており、8月に県教委から2012年度までの前期計画における再編統合後の新高校の骨格の素案が発表されました。

幸いにも本校は、前期計画の対象から外れたものの、1学年3学級の小規模校であることから後期計画の対象校になることが大変危惧されます。

つきましては、定期総会のご挨拶でも少しふれましたが、本校存続の対応が今後の緊急課題と受け止めており、早急に同窓諸先輩をはじめ地元有志の方々による組織づくりが必要と考えています。その折には各位の絶大なご協力を賜りますようお願い申し上げます。

末筆ながら、寒さも一段と増します折、皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。



校長
豊田久正

80年を越える歴史と伝統のある本校に赴任し、身の引き締まる思いをいたしております。

如意ヶ丘同窓会の皆様には、日ごろより、伏木高等学校の発展のために温かいご支援を賜り心から御礼を申し上げます。創立80周年の節目を迎えた昨年度は、記念式典の挙行や記念誌の発行、そして校門の改築、第2体育館ピロティの人工芝化の事業、加えて、高額の国際交流派遣助成基金の創設など、同窓会の皆様が中心となって大がかりな記念事業を実施していただきました。このご厚情を本校の今後の教育活動に有効に活用させていただき所存でございます。

今年の3月に国際交流科の第一期生が卒業いたしました。国際交流科では、生徒全員が普通教科の他に、外国語では英語に加えて環日本海諸国の中国、韓国、ロシアのいずれかの国の言語を学び、ホームステイや授業体験による相互交流を各友好校との間で実施しています。この海外での語学研修とホームステイ、また、海外の高校生をホームステイで受け入れるという体験は、生徒諸君にとって、外国の風景や文化を見聞して知識を増やすということだけではな

く、むしろ、外国の高校生の勉学に対する真剣さを目の当たりにして、それまでの自分の勉学や生活の態度を反省したり、清らかで豊かな水の流れや四季がある恵まれた日本の自然、そしてその中で育まれた日本文化の素晴らしさを再発見し、日本の平和や安全など、自分自身や日本を再認識する貴重な機会になっています。いろいろな面で刺激を受けて、自分のこれからの生き方を改めて見直す機会になっていること、視野を広げて人として大きく成長していること、また、人として一つ高い目標を掲げることができるようになっていることなどを、生徒諸君との面談を通して感じています。

今年度は国際交流科が設置されて4年目となることから、これまでの取り組みを基礎として、国際理解教育の内容を一層充実させるとともに、何事にも一生懸命に取り組む本校の校風を一層高めたいという思いで、教職員一同努力をいたしております。

会員の皆様のご健勝と如意ヶ丘同窓会の発展を祈念いたしますとともに、今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。

総会報告



8月14日、16時より高岡商工ビルで伏木高等学校如意ヶ丘同窓会の平成20年度定期総会が開催された。平成16年度より二期四年間にわたり、会長として同窓会の発展に尽力され、昨年の創立80周年記念事業も見事に成し遂げられた林秀治会長が健康上の理由で辞意を表明され、役員改選が行われた。選考委員会を経て、牧亨氏が満場一致で新会長に選任された。

その後、国際交流科の現3年生4人による海外語学研修報告がスクリーンの映像を用いて行われ、ロシア語・韓国語・中国語を学び、国際交流を通して頼もしく成長している後輩たちに、会場から盛大な拍手が贈られた。懇親会は、牧新会長の挨拶、石須大雄氏の乾杯で始まり、終始明るく和やかな雰囲気に進んだ。最後は伏木商業学校、伏木高校の校歌を大合唱し、濱谷元一郎氏の音頭による万歳三唱で締めくくられ、なつかしい面々で賑わった懇親会は、盛会のうちに幕を閉じた。

その後、国際交流科の現3年生4人による海外語学研修報告がスクリーンの映像を用いて行われ、ロシア語・韓国語・中国語を学び、国際交流を通して頼もしく成長している後輩たちに、会場から盛大な拍手が贈られた。懇親会は、牧新会長の挨拶、石須大雄氏の乾杯で始まり、終始明るく和やかな雰囲気に進んだ。最後は伏木商業学校、伏木高校の校歌を大合唱し、濱谷元一郎氏の音頭による万歳三唱で締めくくられ、なつかしい面々で賑わった懇親会は、盛会のうちに幕を閉じた。

伏木高校如意ヶ丘同窓会

平成二十年度 如意ヶ丘同窓会顧問・役員

卒業回数	役 職	氏 名
北高 3 回	顧 問	夫正治 弘二 雄正 亨 智行 朗一 志明 隆三 司二 久郎 雄夫 司明
北高 6 回	〃	和 秀 安進 大久 千克 逸利 正邦 哲博 浩昭 一勇 貞敬 憲
北高 8 回	〃	下 尾 田 若須 田 元 沢 沢 井 下 口 野 江 泉 田 嶋 田 越 本 野 井 元
北高 13 回	〃	山 中 林 横 盤 石 豊 牧 本 戸 高 山 山 山 佐 宇 小 加 江 泉 田 嶋 田 越 本 野 井 元
伏高 20 回	〃	〃
伏高 38 回	〃	〃
伏高 16 回	会 副	会 長
北高 6 回	〃	〃
伏高 10 回	〃	〃
伏高 13 回	〃	〃
伏高 15 回	〃	〃
伏高 18 回	〃	〃
伏高 21 回	〃	〃
伏高 23 回	〃	〃
伏高 26 回	〃	〃
伏高 27 回	〃	〃
伏高 31 回	〃	〃
伏高 34 回	〃	〃
伏高 40 回	〃	〃
北高 7 回	監 査	〃
伏高 10 回	〃	〃
北高 6 回	関 東 如 意 ヶ 丘 会 長	〃
北高 1 回	関 西 支 部 長	〃

第23回 如意ヶ丘グリーン会

日 時 平成20年4月12日(土)
場 所 氷見カントリークラブ

優勝 山尾 宏 (伏高13回)
次勝 城口 吉朗 (伏高19回)
3位 増井 修 (伏高22回)
4位 西川 宝三 (伏高28回)
5位 澤武 博 (伏高26回)
6位 高瀬 秀夫 (伏高13回)
7位 辰野 猛 (伏高19回)
8位 三好 勉 (伏高26回)
9位 山崎登喜男 (伏高14回)
10位 石坂 寛彦 (伏高12回)
B G 田中 清 (北高9回)

第29回 富山県高校OB対校ゴルフ大会

日 時 平成20年6月1日(日)
場 所 高岡カントリー倶楽部

母校の名誉にかけ、30校(参加者240名)が熱戦を展開し、我校は健闘し7位となる。

〈出場者〉

代表 幹事世話人
田中 清(北高9回) 中山 勝儀(伏高13回)
田中 清夫(伏高10回) 井波 宏彰(伏高12回)
川端 博之(伏高13回) 矢坂 誠(伏高15回)
増井 修(伏高22回) 澤武 博(伏高26回)

受賞おめでとうございませう

春の叙勲 瑞宝中綬章
土原 陽美 氏(高岡北部高・第8回卒)
元公正取引委員会事務局取引部長
我孫子市若松在住。

秋の叙勲 瑞宝小綬章
藪田 俊彦 氏(伏木高商業・第13回卒)
富山商船高専で32年間にわたり体育学を教える。
現名誉教授。氷見市中央町在住。

厚生労働大臣表彰受賞
山下 和夫 氏(高岡北部高・第3回卒)

関東支部より

副会長 深原 明 (北高7回卒)

第12回関東如意ヶ丘同窓会総会は、平成20年11月8日(土)正午より、J R中央線市ヶ谷駅最寄の「アルカディア市ヶ谷」にて、来賓8名、会員32名合計40名の出席のもとで開催されました。

冒頭に全員起立のもと、物故者への黙祷を捧げる。

川善市副会長の司会で、榎副会長の会の躍進を祈念しての力強い「開会宣言」があり開始されました。

第一部は次第に従い、はじめに酒井敬司会長からの挨拶があり、世界の経済・金融危機に関連する課題を取り上げ、日頃の事業経営の実践理念を踏まえ、これからの処世の対応と生き抜き方の一端を話した後、今回出席いただいた来賓・会員の皆様への心からのお礼の挨拶がありました。

議事に入り、山岸事務局長からの19年度事業報告及び20年度事業計画では、本年度母校野球部が県内ベスト8の事例等、国際交流の実例も挙げ乍の報告があり、参会者一同、後輩の自己実現の活躍に更なる充実と期待を共にした次第です。続いての北山会計長の会計報告・岸会計監査報告が行われ、満場一致で承認されました。

総会議事終了に続いて、来賓挨拶のはじめに、柳野・富山・東京事務所長の祝辞があり国の推進事業の“未来に拓く北陸新幹線”の話題等が提供され、次いで松田・東京・富山県人連合会副会長さらに牧同窓会本部会長からの挨拶は、伏木五大企業の近況等について今昔の変遷の思いをこめての話に感銘をうけました。

また校長に代わり阿部康男副校長からは、国際交流科の積極的な国際交流推進の現状を課題も含めて詳細に語って

頂き、箏曲部が全国大会で最高評価を得たこと等、“特色ある高校”としてメディアの注目的存在となるに至っているとの事、同窓会会員としての使命の一端を再認識した次第。

第二部は、作道常任幹事の司会で懇親会に入り、来賓と会員一同の健康と母校の栄を祈念し、尺八演奏による邦楽の「越天楽」を唱和し、清水正顧問(伏高S17卒)の声高らかな音頭で乾杯に入った。懇談が続く中、浜陽子副会長(テイチク専属歌手)の“大漁唄い込み”“山中節”と盛り上がり、郷土の“帆柱おこし”“越中おわら”の美声と名調子に合わせ女性の踊り手と共に輪が広がり、3時間の宴は和気あいあいとなり全員での校歌を元気一杯斉唱。鶴谷副会長の次回の盛会をこめて万歳三唱で総会を終え当日空輪されてきた北日本新聞、富山新聞等郷土の香りいっぱいの便りを戴き散開となった。



関西支部より

事務局長 山岡 巖 (伏高16回卒)

去る10月19日(日)、水掛不動尊で有名な法善寺近くの洋風宴会場「フェローズ」で、越中おわら節・伏木帆柱おこし祝い唄等郷土の民謡の流れるふるさとムードの中、同窓会本部からは山下利一副会長・母校からは豊田久正校長をお迎えし、支部会員38名、総勢40名で、第12回関西支部如意ヶ丘同窓会の総会が開催されました。

冒頭、全員起立で物故者に対し黙祷を捧げました。本元支部長の開会挨拶に続き、山下副会長からは、春は花見会・秋は紅葉狩り・懇親会等関西支部が活発に活動していること等の挨拶・豊田校長からは、スクラップブックにより4月からの7ヶ月間の母校の活動報告等の挨拶を頂き、議事に入りました。

支部長を議長に選出して始まり、平成19年度の事業報告・会計報告・監査報告等が山岡事務局長・奥会計・秋元副支部長より報告があり、それぞれ満場一致で承認されました。

最後に同窓会本部から、関西支部への活動補助金が副会長より支部長に授与され、一同拍手で謝意を表明しました。

以上で総会は全て終了し、懇親会が始まるまでの休憩の間、隣の会場に高田明様(北高9回卒)より出展して頂いた手作りの能面(女の面3点・男の面3点・狂言面1点)を、出席された方々が鑑賞され、余りの出来栄えに皆さん感嘆されておりました。又、過去6回開催した懇親会のスナップ写真も併せて展示。

休憩後、川田豪之様(北高7回卒)が所持されておられた北前船資料館・勝興寺・如意の渡等伏木の観光名勝が収録された伏木曳山祭「けんか山」のビデオを皆さんが懐か

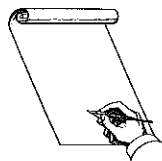
しく食い入るように鑑賞。

懇親会は、鶴谷副事務局長の司会で、竹中美津子様(伏高12回卒)の乾杯の発声で始まり、各自昔話に花を咲かせ、副会長・校長は各テーブルを回り、皆さんと親しく会話を交わされておられました。やがて恒例のとやま産品争奪ジャンケン大会・カラオケ大会が行われ、会場は大いに盛り上がり、4時間にも及ぶ懇親会も終始和やかな雰囲気の中で終演を迎えました。

BGMから流れる伏木商業学校・伏木高校の校歌に合わせ、全員が肩を組みながらの校歌斉唱は、とにもかくにも懐かしく学窓時代を偲ばせてくれたことでしょう。

閉会時刻も近づき、副会長の関西支部発展を祈念して万歳三唱を全員で唱和し、副支部長による恒例の三本締めで総会および懇親会をめでたく終了しました。





限りなく厚がましく、生意気に 野田 明 (伏高14回卒)

高校時代の3年間は、今も交流の続いている大親友の吉岡裕明君と高岡高校を見返してやろう、伏木高校を県下に知らしめようと、限りなく厚がましく、生意気な生徒でした。

高校3年のときに、弁論部を復活させて雄弁を振るい、1961年8月、永井柳太郎杯北陸三県高校弁論大会で優勝し、「伏木高、野田君1位」という大見出しで地元の新문에報道されました。

この大会で3位に入賞した女性徒に、優勝した優越感から生意気にも声をかけました。そして、何回か話し合う機会に恵まれましたが、彼女は、理知的、聡明で、逆に私が教えられ、得るものがたくさんありました。彼女は、大学4年で司法試験に合格して、弁護士になりました。

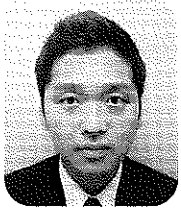
私が、36年間の教職を全うして定年を迎えた直後に、彼女から幼稚園長の要請があり、引き受けました。高校3年のとき、彼女に厚がましく声をかけたから実現したのです。

私は、大学では、言語障害児教育を学び、指導教官のかばん持ちをして、近隣の小学校に出かけて、たくさんの言語障害児と接し、千葉県でそのことばの教室の担任として、活かすことができました。

言語障害児教育の勉強をして、幼児教育の必要を痛感しました。大学4年の後期は、みんな単位を取得して就職活動をしていましたが、私は、幼児教育の専門科目を受講していました。指導教官とマンツーマンの講義は国立大学だからできることだと悦に入り、将来幼稚園を経営したいという夢を抱いて、成田空港の近くに山林を購入していました。

私は、勉強は自分から進んでやることだと(母子家庭で塾に行く余力もありませんでしたが)わからないと夜でも厚がましく先生のお宅に教えを請うていました。そんな私でしたから、先生方にも生徒たちにも煙たがられていました。しかし、そんなことは意にも介せず、定年過ぎても高校時代からの厚がましさと生意気さで夢を追いかけています。

大学時代から持ち続けていた幼児教育への仕事は、38年経過してその夢がかなうことができました。「親子で歩く幼稚園」として、年長と保護者と先生と15キロのウォーキング大会を完歩しています。ゴールしての達成感が、私と同じように厚がましく、生意気にも夢を追いかけて前向きに歩いていく力となってくれと信じつつ楽しく園児と接しています。



教育実習を終えて 楠 卓郎 (伏高57回卒)

私は今年の6月の上旬から3週間、伏木高校で教育実習をさせていただきました。その3週間を通して、伏木高校の良さを2点再発見することができました。

1つ目は「結束力の強さ」です。実習期間中、服装検査に立ち会うことができたのですが、チェックの厳しさは私の在学中と変わらず、先生方一人一人が厳しく検査に臨んでいたのが印象的でした。また部活動に所属している生徒に多く見受けられたのですが、部員全員で連帯責任を取り、ルールを守ろうとする風潮が生まれているようでした。「集団生活を送るためにはルールを守る」という教育理念が、先生方の厳格な姿勢と連携、そして生徒同士の結束力を生み出しているのだと考えます。

2つ目は国際交流です。私が在学していた5年前に比べ、交流の提携校が増え、国際交流に力を入れているのがわかりました。実習中には中国からの高校生が訪れ、生徒同士触れ合う時間がありました。戸惑いながらも、積極的にコミュニケーションを取ろうとする姿がとても印象的でした。またル・シエールの展示物からも、国際社会に目を向け実際に触れることができるという伏木高校の魅力が伝わってきました。

この3週間を通して、教える立場に立つ責任の重さと難しさ、達成感を味わうことができました。なにより「分かった!」や「あ〜なるほど。」など、生徒が納得した場面に出会えた喜びは、忘れることのできない一生の宝になりました。

実習中お世話になった先生方、そして生徒の皆さんのお陰で多くのことが学べ、大変有意義な3週間を過ごすことができました。本当にありがとうございました。末筆ながら、伏木高校の益々のご発展をお祈り申し上げます。

三北 回卒 山代 山 下 和 夫	六北 回卒 本元 千 智	八北 回卒 林 秀 治	八北 回卒 松長 一 雄	九北 回卒 布野 彰 一	十伏 回卒 戸澤 克 行	十伏 回卒 牧野 貞 夫	十伏 三回 卒 高 井 逸 朗	十伏 四回 卒 上野 宏 芳	十五伏 回卒 中山 勝 儀	十五伏 回卒 山下 利 一
------------------------------------	--------------------------	-------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	-----------------------------------	-------------------------------	---------------------------	---------------------------



在校生諸君に同窓生よりメッセージ

山下利一 (伏高5回卒)

先般、如意ヶ丘同窓会関西支部総会に豊田校長と出席した折のこと、関西の同窓生のみなさんから、開口一番「今年の野球部は強かったね。息子にパソコンを開いてもらって試合結果を見るのが楽しみだった。遠方にいるだけに、母校の活躍している記事を読むと、故郷や学生時代を思い出しても懐かしい。これからは是非頑張るように後輩達に伝えて欲しい。」との伝言を聞き帰ってきた。野球部に限らず在校生には、地元はもとより遠隔地の同窓生も、温かく後輩を見守ってくださることを念頭におき勉学に部活動にと励んで欲しい。

また、諸君の先輩に青年海外協力隊の一員として、パプアニューギニアでスポーツ（サッカー）指導をして帰国した山内重孝（伏高第53回卒）がいる。先日彼に会い話を聞いた時「まず一番は夢（目標）を持つことが必要だ。」と話してくれた。「サッカー部の後輩には是非全国大会を目指し、各々が目標を持ち悔いのないように頑張ってもらいたい。」と後輩思いの一面も見せた。彼自身は、現地で2年間経験したことを生かし、今後更に社会経験（就職）を経て、目標である教員を目指す目を輝かせていた。彼にはその夢を是非とも達成してくれることを願っている。

さて、在校生諸君に一言。このように諸君の活躍を期待しているたくさんの同窓生達の思いを受け止め、「何事にも目的意識を持ち、何事にも集中して行う」ことを心がけてほしい。

同期会報告

第16回伏木高校商業科卒業生同窓会

酒井浩文 (伏高16回卒)

第16回卒業生 第4回同窓会を平成20年5月31日～6月1日（一泊二日）の日程で高岡市太田の『磯はなび』にて開催しました。

参加人数は男性23名、女性13名、恩師2名（中村敏之先生、山本甚四先生）の46名です。

同窓会の開会前に記念写真撮影が行われました。



会では宮崎明幹事代表が

開会の挨拶をし、次に恩師の先生方が挨拶され、そのあと一同乾杯によってなごやかに歓談がはじまりました。

恩師のテーブルには入れ替わり立ち代わり人が集まり、挨拶や近況報告など笑い声がたえませんでした。

一次会が終了後、二次会会場へ移動しました。

二次会後は幹事部屋に集まり時間のたつのも忘れ歓談していました。

翌日は朝食後は流れ解散、又の再会を約束し帰路に着きました。

「どかんクラブ」高岡北部第4回卒有志

高見健二 (北高4回卒)

毎年4月に総会を行い秋には、恩師高井征一先生（昭和25年6月～57年3月在籍）を囲み同期会（メンバー15名）を行っている。今年は平成20年9月19日に“ゆのくに天祥”に行き先生と昔ばなしなどをして心ゆくまで楽しんだ。30年余り続けているが、先生及びメンバーの健康を思いつつ、ずっと続けていきたい。



十六回卒 高卒 代表取締役 東光運輸(株) 牧亨	十七回卒 高卒 代表取締役 (株)神島リビング 神島高志	十八回卒 高卒 代表取締役 東洋通信工業(株) 山口正志	二十回卒 高卒 代表取締役 (有)佐野本家石材工業 佐野邦明	二十六回卒 高卒 代表取締役 昭和運輸(有) 小泉哲二	二十七回卒 高卒 院長 井上動物病院 井上人士也	二十七回卒 高卒 取締役 島田工業(株) 島田博司	三十一回卒 高卒 代表取締役専務 松島工業(株) 松嶋浩二	三十四回卒 高卒 代表取締役 (株)ローリング 数田昭久	四十回卒 高卒 代表取締役 宮越工芸(株) 宮越一郎
--------------------------------------	--	--	--	---	--------------------------------------	---------------------------------------	---	--	--



生徒一人ひとりの自己実現を支援するキャリア教育・国際理解教育

～国際交流科 第1期生 健闘～ 生徒一人ひとりの進路実現を

進路指導主事 高澤 真穂美

今春、卒業した国際交流科第1期生116名は、目的意識の高い生徒が多く、目標達成に向けて最後まであきらめずに頑張りました。露韓中の各友好校との交流はもちろん、進路実現においても健闘しました。

国公立大学合格者は前年度より増え9名。合格校は、金沢大(理工学部数物科)、富山大(医学部看護科、工学部環境応用化学科、人間発達科学部人間環境スポーツ地域スポーツ学科)、新潟大(工学部機械材料工学科、経済学部経済学科)、富山県立大(工学部知能デザイン学科、機械システム工学科)、釧路公立大(経済)です。国公立大学においては理系学部合格者が多くなっていますが、私立4大、専門学校においては外国語系で健闘を見せました。

本校では、生徒一人ひとりの進路実現支援のために、様々な取り組みをしています。7月の「職業人講話」(1,2年生対象)では、PTAや同窓会の皆様方のご協力を得て、職業についての苦労話や生き甲斐などを聞かせていただき、7月上旬の「伏木地区企業訪問・校外ウォーキング」(1年生)では、地元伏木の勝興寺、北前船資料館、速水発条(株)、伏木税関などを訪れ、夏休みには「オープンキャンパス、就業体験」(2年生)に参加しています。これらの体験は、生徒にとって、将来を考えるよい機会となっております。

国際交流科第2期生(現3年生)も、目標達成に向けて頑張っており、国際交流科に学ぶ生徒として、国際人としての広い視野に立ち、英語をはじめ、第2外国語のさらなる習得を

も視野にいれた進路選択をしてほしいと願っております。同窓会の皆さまには、将来を担う若者の健全な育成のために、今後一層のお力添えをよろしくお願い申し上げます。

平成19年度 進路別現役合格者数 (延べ数)

	人数	主な進路先
国公立大学	9名	金沢1・富山3・新潟2・釧路公立1・富山県立2
私立大学	49名	国士舘・駒沢・拓殖・日本・立正・関西外国語・京都外国語・近畿・神戸学院・摂南・天理・愛知・愛知淑徳・中京・帝京・富山国際・新潟工科・北陸・金沢学院・金沢星稜・金沢工業・福井工業 など
国立高等専門学校	1名	富山工業高等専門学校
国公立短大	2名	秋田公立美術工芸・大月
私立短大	21名	富山・富山福祉・福井医療・白鳳女子・亜細亜大学短期大学部・金城大学短期大学部・星陵女子 など
専門学校	41名	富山県立保育・高岡市立看護・高岡市医師会看護・厚生連高岡看護・富山市外国語・富山県技術・富山理容美容・石川理容美容 など
就職	8名	コマツキャストックス(株)・(株)島屋・STプロダクツ(株)・(株)ビューマ・氷見市農業協同組合・(株)ユニクロ・(株)都グリーン・(株)セーブオン

部活動報告

Fushiki High School

◆◆◆平成20年度部活動の記録◆◆◆

- 〈陸上部〉
第57回高岡市長盃争奪陸上競技大会
男子4000m 第3位 広瀬 武士(3年)
第61回富山県高等学校陸上競技対校選手権
男子400mハイドル 第2位 広瀬 武士(3年)
- 〈体操部〉
富山県高等学校総合体育大会体操競技
女子個人総合 第2位 芝田 佳織(3年)
- 〈サッカー部〉
富山県高等学校総合体育大会サッカー競技 第3位
- 〈書道部〉
第7回岐阜女子大学全国書道展 奨励賞 金枝 志保(2年)
釣 亜由美(1年)
荒野瑠璃穂(1年)
特賞 定司 友里(2年)
- 第33回富山県青少年美術展
書部門 銀賞 金枝 志保(2年)
入選 定司 友里(2年)
- 〈美術部〉
第33回富山県青少年美術展 絵画部門 渋谷 美鈴(3年)
デザイン部門 西海 愛純(3年)
沖 香織(2年)
- 〈その他〉
富山県高等学校総合体育大会空手競技
女子個人・形 第3位 金井亜梨沙(3年)
第93回二科展
写真部門 入選 畑 めぐみ(2年)
第33回富山県青少年美術展
写真部門 入選 畑 めぐみ(2年)
第3回とやま森の四季フォト大賞
ジュニア部門 奨励賞 畑 めぐみ(2年)

第1回万葉線フォトレターコンテスト

学生の部 入選 畑 めぐみ(2年)

第57回学生ユネスコ弁論大会

高等学校の部 第1位 沈 道静(3年)
高等学校の部 森本賞 前野 貴之(2年)

第26回全日本中国語スピーチコンテスト富山県大会

朗読の部 第1位 津田麻衣子(2年)
第2位 安田 琴絵(1年)
第1位 前野 貴之(2年)
第2位 池田 優希(1年)
第3位 藤田 美咲(1年)
第2位 蓑 翔太(2年)

スピーチ高校生の部

第55回国際理解国際協力のための高校生主張コンクール
富山県大会 最優秀賞 沈 道静(3年)
中央大会 日本国際連合協会会長賞 沈 道静(3年)

第55回国際理解・国際協力のための 高校生の主張コンクール中央大会

3年 沈 道静 (中国出身)

日本国際連合協会会長賞受賞。来年3月に渡米し国連本部を訪れる予定。

「地球に平和が訪れる日を目指して」と題して、研修旅行で訪れたタイで貧困、病気などの問題に触れ、国際協力の大切さを学んだことを紹介。自分が日本で学んだ茶道の精神を広め、将来は外交官として日中友好に貢献したいと訴えた。



INFORMATION

- ①寄稿の件 本会報に掲載する原稿を募集致します。(学生時代の記憶に残る体験、経験談、思い出話等)皆様のご協力を頂き、より充実した紙面を目指していきたいと思っております。なお、原稿は1,000字以内でお願いします。
- ②会報広告の件 会報広告を募ります。皆様方のご協力をお願いします。
- ③如意ヶ丘グリーン会参加者募集 毎年4月第2土曜日
- ④学校のホームページと同窓会のメールアドレスです。ご利用下さい。
ホームページ <http://www.tym.ed.jp/sc354/> メールアドレス dousoukai@fushiki-h.tym.ed.jp
- ⑤来年度の総会を平成21年8月14日(金)に予定しています。

受付窓口 富山県立伏木高等学校 事務局TEL0766-44-1514 FAX0766-44-1707

編集後記

会報14号をお届けします。昨年80周年を祝った母校は、皆様の各方面からのご支援やご協力のお陰で新しい歩みをスタートし、国際交流の成果が少しずつではありますが、実を結び始めているようです。この場をお借りして、心から感謝申し上げますと共に、母校の発展のため同窓会活動に対する変わらぬご理解とご協力をお願いいたします。